

正誤表

『喘息診療実践ガイドライン 2023』（2023年7月21日発行第1刷）に下記の誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

株式会社協和企画

記

頁	訂正箇所	誤	正
7	2-3「プライマリ・ケアで容易に原因を特定できない」慢性咳嗽の鑑別診断 (本文下から10行目から)	・「プライマリ・ケアで容易に原因を特定できない」慢性乾性咳嗽の主な疾患として、喘息(咳喘息を含む)、アトピー咳嗽、胃食道逆流症(GERD)、副鼻腔気管支症候群(SBS)が存在する。なお、「プライマリ・ケアで容易に原因を特定できない」慢性乾性咳嗽には、…	・「プライマリ・ケアで容易に原因を特定できない」慢性咳嗽の主な疾患として、喘息(咳喘息を含む)、アトピー咳嗽、胃食道逆流症(GERD)、副鼻腔気管支症候群(SBS)が存在する。なお、「プライマリ・ケアで容易に原因を特定できない」慢性咳嗽には、… ※「乾性」を削除
13	2-4 喀痰調整薬 (本文下から7行目)	粘液栓形成が高度となると	粘液栓が形成されると

以上